

発行日: 2024-04-29

改訂日: 2025-10-06  
バージョン 2

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 Cyclic AMP XP® Chemiluminescent Assay Kit

製品番号 8019

キット構成要素  
50715: cAMP Rabbit mAb Coated Microwells  
55401: cAMP-HRP Conjugate  
38720: cAMP Standard (2.4uM)  
84850: Luminol/Enhancer Solution  
42552: Stable Peroxide Buffer  
9801: ELISA Wash Buffer (20X)  
9803: Cell Lysis Buffer (10X)

### 安全データシートの供給者の詳細

#### 製造者

Cell Signaling Technology  
3 Trask Lane  
Danvers, MA 01923  
United States  
電話 +1 978 867 2300  
ファックス +1 978 867 2400  
メールアドレス

#### 供給者

CSTジャパン株式会社  
東京都千代田区内神田1-6-10  
笠原ビルディング10階 〒101-0047  
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2 中枢神経系、血液、腎臓	
水生環境有害性 - 急性	区分 3
水生環境有害性 - 慢性	区分 3

### GHSラベル要素



#### 注意喚起語

警告

#### 危険有害性情報

H319 - 強い眼刺激

H371 - 臓器の障害のおそれ

H402 - 水生生物に有害

H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 注意書き

#### 安全対策

取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。環境への放出を避けること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

#### 応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

#### 保管

施錠して保管すること。

### 3. 組成及び成分情報

#### キット 構成要素

84850: Luminol/Enhancer Solution

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
エチレングリコール	1-3	2-230	-	107-21-1

#### キット 構成要素

9803: Cell Lysis Buffer (10X)

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル )フェニル=エーテル	10	-	-	9002-93-1

#### キット 構成要素

50715: cAMP Rabbit mAb Coated Microwells

55401: cAMP-HRP Conjugate

38720: cAMP Standard (2.4uM)

42552: Stable Peroxide Buffer

9801: ELISA Wash Buffer (20X)

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。

#### 皮膚に付着した場合

汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

#### 眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

動物由来の生物を含みます。敏感な人にアレルギー反応を起こすことがあります。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。過剰ばく露の症状は、めまい、頭痛、疲労、吐き気、意識喪失、呼吸の停止である。この製品の液体、エアゾール及び蒸気は刺激性であり、刺すような感覚及び/又は微細な粉じんが眼に入ったような感覚を伴う傷み、流涙、発赤、及び腫脹生じる可能性がある。

#### 医師に対する特別な注意事項

症状に応じて治療すること

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
特有の危険有害性	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

緊急時対応要員以外の人用	保護具を使用する。皮膚や眼との接触は避ける。適切な保護衣を着用している場合を除き、損傷した容器や漏出物には触らないこと。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	漏れた物質を泡で覆い、発火の危険性を低減すること。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。水路、下水道、地下室又は密閉空間への侵入を防止すること。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	不活性吸収剤で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。浄化後、痕跡を水で洗い流すこと。製品が排水路に入らないようにすること。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。十分換気されているか確認すること。保護具を着用する。使用中は、飲食や喫煙をしないでください。
----------	---

### 保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
------	-------------------------------

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム
許容濃度	

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
----------	----------	-------------------------	-----------

エチレングリコール 107-21-1	-	TWA: 25 ppm vapor fraction STEL: 50 ppm vapor fraction STEL: 10 mg/m <sup>3</sup> inhalable particulate matter, aerosol only
-----------------------	---	---

<b>生物学的許容値</b>	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
<b>環境ばく露防止</b>	情報なし
<b>保護具</b>	
<b>呼吸用保護具</b>	【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
<b>手の保護具</b>	不浸透性手袋
<b>眼及び又は顔面の保護具</b>	側板付き保護眼鏡
<b>皮膚及び身体の保護具</b>	適切な保護衣を着用すること

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

<b>キット構成要素</b>	<b>55401: cAMP-HRP Conjugate</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	赤色
pH - 値 1	7.4 (20 °C)
<b>キット構成要素</b>	<b>38720: cAMP Standard (2.4uM)</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
<b>キット構成要素</b>	<b>84850: Luminol/Enhancer Solution</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色 / 明るい鮮紅色
pH - 値 1	9.5 (20 °C)
溶解度	水に可溶
<b>キット構成要素</b>	<b>42552: Stable Peroxide Buffer</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
pH - 値 1	4.9 - 5.1 (20 °C)
溶解度	水に可溶
<b>キット構成要素</b>	<b>9801: ELISA Wash Buffer (20X)</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
pH - 値 1	6.4 (20 °C)
<b>キット構成要素</b>	<b>9803: Cell Lysis Buffer (10X)</b>
物理状態	液体
色	無色
pH - 値 1	7.5 (20 °C)

キット 構成要素  
外観

50715: cAMP Rabbit mAb Coated Microwells  
Microwell Plate

## 10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	極度の温度及び直射日光
混蝕危険生成物	強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害性分解生成物	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある、二酸化炭素、窒素酸化物 (NOx)

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	= 1700 mg/kg (Rat) = 1800 mg/kg (Rat)	-	-
エチレングリコール	= 4700 mg/kg (Rat)	= 10600 mg/kg (Rat)	> 2.5 mg/L (Rat) 6 h

### 症状

動物由来の生物を含みます。敏感な人にアレルギー反応を起こすことがあります。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。過剰ばく露の症状は、めまい、頭痛、疲労、吐き気、意識喪失、呼吸の停止である。この製品の液体、エアゾール及び蒸気は刺激性であり、刺すような感覚及び/又は微細な粉じんが眼に入ったような感覚を伴う傷み、流涙、発赤、及び腫脹生じる可能性がある。

### 製品情報

#### 経口

キット 構成要素  
経口

#### 84850: Luminol/Enhancer Solution

経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある

キット 構成要素  
経口

#### 42552: Stable Peroxide Buffer

経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある

キット 構成要素  
経口

#### 9801: ELISA Wash Buffer (20X)

経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある

#### 吸入

キット 構成要素  
吸入

#### 84850: Luminol/Enhancer Solution

蒸気またはミストを吸い込まないようにすること

キット 構成要素  
吸入

#### 9801: ELISA Wash Buffer (20X)

蒸気またはミストを吸い込まないようにすること

**皮膚接触**

キット構成要素 皮膚接触	<b>55401: cAMP-HRP Conjugate</b> 反復又は長期にわたる接触は、非常に敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある
キット構成要素 皮膚接触	<b>84850: Luminol/Enhancer Solution</b> 皮膚に触れないようにする
キット構成要素 皮膚接触	<b>9801: ELISA Wash Buffer (20X)</b> 反復又は長期にわたる接触は、非常に敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある

**眼接触**

キット構成要素 眼接触	<b>84850: Luminol/Enhancer Solution</b> 刺激を生じるおそれ
キット構成要素 眼接触	<b>9803: Cell Lysis Buffer (10X)</b> 一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある

**皮膚腐食性/刺激性**

情報なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

キット構成要素 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	<b>9803: Cell Lysis Buffer (10X)</b> 眼を刺激する
-----------------------------	--

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

情報なし

**生殖細胞変異原性**

情報なし

**発がん性**

情報なし

**生殖毒性**

情報なし

**特定標的臓器毒性(単回ばく露)**

臓器の障害のおそれ

キット構成要素 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	<b>84850: Luminol/Enhancer Solution</b> 中枢神経系 腎臓 血液
----------------------------	--

**特定標的臓器毒性(反復ばく露)**

情報なし

**誤えん有害性**

情報なし

**12. 環境影響情報****生態毒性**

環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。

**製品情報**

キット構成要素 生態毒性	<b>9803: Cell Lysis Buffer (10X)</b> 長期継続的影響によって水生生物に有害
-----------------	--

## 成分情報

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	-	LC50 8.9 mg/l (Pimephales promelas) 96 h	EC50 26 mg/l (Daphnia) 48 h
エチレングリコール	EC50: 6500 - 13000mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: =41000mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 14 - 18mL/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =27540mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =40761mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 40000 - 60000mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =16000mg/L (96h, Poecilia reticulata)	EC50: =46300mg/L (48h, Daphnia magna)

## 残留性・分解性

キット 構成要素  
残留性・分解性

9801: ELISA Wash Buffer (20X)  
難分解性

## 生態蓄積性

キット 構成要素  
生態蓄積性

9801: ELISA Wash Buffer (20X)  
生物濃縮される可能性は低い

化学名又は一般名	分配係数
エチレングリコール	-1.36

## 移動性

キット 構成要素  
移動性

9801: ELISA Wash Buffer (20X)  
水溶性のため環境中で移動性になる可能性がある

## 他の有害影響

## 内分泌かく乱物質情報

内分泌かく乱物質であることが知られている、又は疑われる物質を含む

化学名又は一般名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本-内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル )フェニル=エーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

## 汚染容器及び包装

空容器を再利用しないこと。

## 14. 輸送上の注意

## IMDG

規制対象外

## ADR

規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

**15. 適用法令**

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

**国内規制****化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)**

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	10	第1種指定化学物質	408

**労働安全衛生法**

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	安衛法表示対象物質	10
エチレングリコール 107-21-1	安衛法表示対象物質 / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	1-3

**16. その他の情報**

発行日: 2024-04-29

改訂日: 2025-10-06

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す

**安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA:	時間加重平均値	Ceiling:	最大限值:
*	皮膚兆候	+	感作物質

**本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源**

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関(EFSA)  
 米国環境保護庁  
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル(Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
日本政府によるGHS分類  
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)  
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)  
米国国家毒性プログラム(NTP)  
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
RTECS (化学物質毒性データ総覧)  
世界保健機構

**免責事項**

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終